

( 2025 ) 年度 児童館事業年間活動報告書 ( 錦林 ) 児童館

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計	
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
(2) こま検定	11			56		7						63	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	検定をきっかけに日々の遊びの中で発展させていき、自信をつけていく状況が見られた。	
(2) けん玉検定	11			36		19						55	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	技を磨き、発表につながる取り組みになっている。自由来館の参加に繋げることが課題。	
(2) けん玉・こま広場	1			12		4				1		17	4月に開催。検定とは違い、こまやけん玉に触れる機会。	検定を受けるには自信がない子、こまやけん玉の経験がない子が触れる機会。	
(2) 切り絵検定	12		1	103		7						111	カッターナイフやハサミをうまく使い、じっくり取り組む機会。	大人数が過ごす場で、安全に落ち着いて取り組むために、時間と場所の工夫が必要。	
(2) 手づくり教室	9	3	29	238	14	33					3	320	毎月実施。手づくり遊びを設定。	子どもスタッフが運営に参画し、「みんなをどう楽しませるか」という視点が生まれている。	
(2) 日本習字展に応募しよう	1		9	11	3	1						24	学童クラブOBの保護者による書写教室。	企画してくださったスタッフは当日は参加されず職員が行った。	
(2・6) ちっちゃな先生活動・乳幼児活動サポート参加	16		6	110		1						117	長期休暇中も継続実施している乳幼児親子活動のサポーターとして活動する小学生の登録会と活動。	スタッフとなった子どもたちは「ちっちゃな先生」として役割意識を持ち活動を行っていた。乳幼児親子にとっても小学生が身近な成長モデルとなっていた。	
(3) 避難訓練・交通安全指導	5		3	343	1	123					7	479	(参加型) 避難訓練(地震時・火災時)、交通安全教室、交通安全指導	消防署と消防分団の協力を得て実施する実地訓練と、警察署の協力を得て行う交通安全の指導。不審者に対するスタッフの訓練も実施した。	
(3) 水鉄砲であそぼう	1		3	15	4	1					13	36	水鉄砲でお互いに水をかけ合うイベント。中学生や大学生にサポートしてもらおう。	子どもたちと共に行えることを考え、中学生や大学生スタッフの協力のもと、子どもたちがやりたいことに取り組むことができた。	
(3) 児童館まつり・準備活動	58	36	57	185	38	90	26	56	10	12	36	546	夏休みから子どもが企画運営するお店屋さんの準備を始める。小学校の体育館と中庭を借りて、地域団体の応援をいっただいて運営する駄菓子や学童クラブ保護者会と共催で遊びのコーナー、親子でお店屋さん、6年生・中学生コーナー等おまつりを開催。	普段の活動では参加機会の少ない父親や祖父母も、子どもたちの様子を見に来場。大学生ボランティアの折紙コーナーや、将棋クラブスタッフの方の将棋コーナー、消防分団の方の煙体験コーナーなど、地域交流の場ともなる。	
(3) ドッジ交流、練習	1		1	29	1	9						40	自館で参加者を募集し、大会を行う。	例年、他館と交流試合を実施していたが、日程が合わず中止となった。しかし、子どもたちの実施を望む声を受けて、館内で大会を実施する。	
(3) みんな遊び	2			43		13						9	65	大学生ボランティアが遊びを企画し、希望者が参加する。	新しい遊びを提案してくれることで参加者も遊びの幅が広がり、楽しむ様子があった。大学生もみんな遊び企画を通して別のイベントのボランティア参加にも繋がっている。

基 本 活 動 も 育 成 機 能	(3) クリスマス会会議 クリスマス会	2	7	80	7	37				1	2	134	季節の取組として実施する。サンタさんからのプレゼント、昨年度も好評だった「パフェ」作りを行う。それに加え、子どもスタッフを中心としたお楽しみゲームを実施。	子どもスタッフが会議を重ね、ゲームの企画、運営を行った。子どもスタッフは自身で企画、運営することのやりがいを感じていた。ゲームの内容も好評で盛り上がりを見せていた。	
	(3) おおそうじ	1	2	72	1	22						97	年末の一日、自分たちの遊び空間を自ら管理する意識を高める。	児童館がみんなのものであることを再認識する機会となっているのではないと思われる。	
	(3) こどもこども会・練習	8	18	65	1	3	2			1		1	91	自分の得意なこと、はまっている遊びをみんなの前で披露してもらおう。地域の方や保護者の方もお招きし、発表や展示を見ていただく。最後に参加者全員でミニゲームを行い、楽しむ。	地域の方や保護者の方に、児童館の日頃の子どもの遊びの様子を見ていただく機会となった。
	(4) ダンスクラブ	61		286	159	146			1	95			687	文教高校ダンス部の高校生有志の協力のもと運営。	高校生の参画を得ることで、子どもたちも刺激を得ながら活動に励んでいた。地域のお祭りへも出演し、発表の機会も得ることもできた。
	(4) 将棋クラブ	12		92	2	7					2	11	119	地域の将棋好きの方に来ていただき、子どもたちと一緒に対局していただいたり、子どもたち同士対局をする。	地域ボランティアの方が相手になってくださり、じっくり集中して取り組んでいる。新しいサポーターも加入して下さった。
	(4) うたっこクラブ	22		305		64						1	370	仲間と一緒に歌う喜びを体験する活動。課題曲はクラブ員が選曲。	いろいろなイベントで発表の機会を設定し、子どもたちの自信に繋げることができた。
	(4) 運動クラブ	11		72	8	53							135	高学年がスタッフとなって内容をその都度企画し進行してクラブ員が楽しめるようにしている。	日常の遊びの中でトラブルが多い児童も、クラブ活動という少人数の活動では、仲間と協力しながら活動する姿があった。
	(4) 紙野球クラブ	12		54	17	85			1	1			163	紙を丸めた手作りボールとプラスチックのバットで、異年齢の児童が野球に親しむ。高学年スタッフが低学年をリードする。	経験の有無に関わらず、野球に興味がある子どもたちが集まり、身近に野球を楽しむ機会となっていた。
	(4) サッカークラブ	23	18	148	20	61	14	1	62	6	9	38	377	学童クラブ保護者のお父さんと学生スタッフによる運営。サッカーを楽しむだけでなく、思いっきり体を動かす事を楽しんでいる。	施設開放委員会に出席し、運動場の利用について調整。地域他団体との協力と共存を大切にしている。
	(4) おりがみクラブ	5		7	14	4	2				11		38	学生ボランティアグループによる隔月1回の企画運営。登録クラブ員以外に参加希望の児童がいた場合は飛び入り参加ができる。	学生スタッフに教えてもらうことで、遊びの幅が広がっている。難しい作品にも挑戦し、達成感を得ていた。
	(4) 竹馬ダンスクラブ	16		2	146	4	5						157	音楽に合わせて、子どもたち自身が創作したダンスを踊る。	子どもたちが主体的に取り組む姿があった。地域のお祭りに出演し、発表の機会を得ることができた。
	(4) ビーズクラブ	16		1	89	3	22						115	こども同士の教え合いを大切に実施する。	じっくり取り組める時間となり、子どもたちも主体的に行っていた。
	(4) あみっこクラブ	8		14	14	7	7					4	46	地域住民ボランティアと共に企画運営を行う。	じっくり取り組める場となり、子どもたちも主体的に行っていた。地域住民との関係づくりも進んでいる。
	(5) だがしデー	10	69	94	487	86	172	45	31	10	24	1018	地域の民生児童協議会の皆さんと子どもスタッフが協力しながら店員となって実施するだがし企画。	駄菓子を購入し子どもたち同士と一緒に食べる楽しみを味わうことができた。	
(6・7) 中高生と赤ちゃん交流 (水遊び)・振り返り	2	12						11	8			31	夏休み期間の特別企画「水遊び」を中高生と共に運営。	日常的に利用のある中高生と近隣の中学校に広報をし、希望者を募集する。「水遊び」の運営を共に行った。幅広い年齢の乳幼児親子の参加があった。	

	(6・3) 高学年イベント・打合せ	6			32	95			17	4		148	高学年がやりたいことを考え、謎解きゲームとキャンプ飯を企画。	小学生高学年の希望を聞きながら、中高生、大学生ボランティアと協力しながらイベントの準備や当日の進行を行った。	
	(6・3) 6年生イベント・打合せ	7		1	56	32	24					113	6年生が集まって相談し、企画、運営を行う。	低学年が楽しめる企画を考えて実施。自分たちも楽しみ、周囲も楽しい企画を作る面白さを共有した。	
	(7) 文教高校ダンス部打合せ	1						2	1			3	ダンスクラブの活動サポートにあたり、文教高校ダンス部の有志の高校生と打ち合わせを行う。	活動の目的や、児童館の想いやまた高校生の想いを共有する場となった。	
	(7) スタディールーム	47				5	4	274			147	12	442	中高生の居場所作りと、中学生になっても気がかりな子に対して、引き続き見守り、繋がる機会を作る。	スタディールームを通して、中高生の日常的な利用が定着した。またLINEを活用することで、日頃からいろいろなやり取りを行うことができています。
	合 計	398	138	415	3033	490	1070	350	172	163	197	129	6157		
推 進 活 動	(5) サンタプロジェクト	6			28								106	普段お世話になっている地域の方にプレゼントを渡す。サンタになり、配達、得意な事を披露する。	訪問した地域住民からはとても喜ばれた。子どもたちもその地域住民の姿に達成感を得ていた。
	(5) 出張おもてなしプロジェクト	9		2	98	13	50						297	異年齢異世代交流を通して、地域の子どもの育成環境をより豊かにし、障がいのあるなしに関わらず、地域に生活する人々の年齢・世代・文化の『違い』を知り、人間の中の『同じ』を見つける。 多くの人々と出会いふれあいを楽しむ。	左京南地域包括支援センターの協力を得ながら、地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。
	(5) ひまわりの絆プロジェクト	2			79			31	4		6		120	川端警察署、白河総合支援学校と連携した交通安全の取り組み。 乳幼児親子と白河支援学校の生徒と一緒に、ひまわりの種植えを行う。	白河総合支援学校の生徒と一緒に種植えを行った。子どもたちとひまわりのお世話を通してプロジェクトの意味を知り、交通安全の意識を持つ機会となった。
	(5) OKAZAKI PARK STAGE参加・リハーサル	2	10	17	28	26	11	1	40	4			137	岡崎いきいき市民活動センターの協力により、地域のお祭りのステージ発表に参加。	ステージ発表を目指して、子どもたちが団結し、練習に励む様子があった。たくさんの地域の方々に発表を見ていただくことで、達成感を得ることができた。
	(5) 岡崎わいわい文化祭練習・参加	2	8	12	12	18	13				36	2	101	岡崎学区自治連合会主催のお祭りに児童館の子どもの発表をご案内いただく。ダンスクラブの発表をする。	日頃の活動の成果を発表できたと共に、地域の他の団体の活動を知ることができた。
	合 計	21	18	31	245	57	110	5	289	6	0	0	761		
子ども育成機能 合 計	419	156	446	3278	547	1180	355	461	169	197	129	6918			

\*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)配慮を必要とする子どもへの対応(7)中高生世代の活動支援(10)エコ活動に分類して記入すること。  
推進活動は、指針に基づき(11)子どもが地域を知る活動(12)移動児童館活動(14)伝統文化に触れる活動に分類して記入すること。

( 2025 ) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 ( 錦 林 ) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題		
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基 本 活 動	(1) ①乳幼児クラブ活動															
	ブレ乳幼児クラブ	5	27										29	56	安心して参加できる入口として設定する。	見通しが持てない親子の体験入門として今後も大切にしていきたい。
	よちよちクラブ	32	131					17					134	283	(クラブ型) 0・1歳。月3回、手遊び・体操・季節のイベント・みんなで遊ぶ取組を行った。	母親同士の横の繋がりをつくることができた。さまざまな活動を通して参加者同士で互いの成長を見守り、喜び合う関係性が生まれた。
	てくてく・りんりん合同クラブ	32	138					40					164	342	(クラブ型) りんりん、てくてく合同での取り組み。2歳以上。月3回、手遊び・体操・季節のイベント・みんなで遊ぶ取組を行った。	乳幼児の利用のうち、2歳児以上よりも0歳児の利用が増えており、クラブのあり方も検討が必要になってきている。
	(1) ②乳幼児の広場活動															
	きんりん0歳児教室	10	49										52	101	(講座教室型) 同年齢の子どもを持つ親子の連続講座。	離乳食講座や絵本講座など、プログラムを設定して進行した。参加者が定期的に顔を合わせることで子育ての孤立化を防ぐことにも繋がっている。
	はなまる広場@きんりん	11	42										43	85	子どもはぐみ室・つどいの広場・児童館学童連盟の協力を得て、毎月1回の子育ての相談の場として開催。	遠方から相談の場を求めて来館される方もおられた。子育てや発達困りの内容によっては必要な関係機関へ繋ぎ、次の支援へ繋がるよう努めた。
	ママのためのセルフケア	11	45										46	99	(講座教室型) 子育て中の保護者がリフレッシュし、参加者同士が繋がるきっかけとなるように意識して実施。	毎回好評で、学童クラブ卒業生の保護者がボランティア講師として協力を得ている。
	ベビーマッサージ	12	63										66	129	(講座教室型) 毎月第2金曜日に助産師がベビーマッサージを指導。	0歳児向けの取組なので、今後も児童館の入り口として取組んでいきたい。
	赤ちゃんサロン	10	37										37	74	(広場型) 妊婦から1歳半の親子対象に子育ての話やふれあい遊び。	児童館の入口の取り組みとして位置付け。ゆるやかな雰囲気を中心に、新規利用者がいればスタッフが間に入るよう努めた。

庭 支 援 活 動	遊びの広場	10	32					33				65	(広場型) 月1回、簡単な工作や遊びを行う。(予約不要)	ちっちゃな先生企画の取組等、移動児童館として地域の公園でも実施した。	
	ぶらっとサロン	11	42					37				79	(広場型) 自由に気軽に遊びに立ち寄る場。始まり又はお昼前に、手遊び・読み聞かせの時間を短時間設定する。	子育て仲間との出会いや、交流を楽しみに利用を重ねる親子が多かった。	
	(2) 家族参加を促す活動														
	まめっこサロン (夏休み開催)	1	6		20		6	7			6	45	夏休みの企画として小学生の子どもたちも一緒に子育てサロン「まめっこ」でイベントを行う。乳幼児親子が家族で参加してもらえるような日程設定を行う。	パパや祖父母の参加が見られるなど、ご家族で遊びに来てくださった。	
	合 計		612	0	20	0	6	57	648	0	0	15	1358		
(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容				件数	つないだ機関等		件数
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 保健福祉センター 主任児童委員 その他 { つどいの広場 保育園 児童福祉センター }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { 育児不安 虐待 }					児童相談所 保健所 保健福祉センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { 主任児童委員 つどいの広場 児童福祉センター 警察署 }		
	件数 計	0	-				0	-				0	-		0
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容				成 果 と 課 題				
	まめっこサロン(岡崎民生協議会)	10人	主任児童委員を中心とする岡崎地域の子育てサロン				場所を提供し、サロン運営メンバーと共に職員がサポートスタッフ参加しサロンを実施。				赤ちゃん家庭へのポスティングなど、地域の乳幼児家庭への直接的情報提供に児童館の情報も取り入れていただいている。				
推 進 活 動	(5) 子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							
		子育て講座【歯のお話会】	1回	子どもの歯科衛生について学びたいとの要望に応え、はぐくみ室の歯科衛生士さんの協力を得る。				保護者の関心も高く、事前アンケートに基づいた歯科衛生士からのアドバイスを受ける。							
		0歳児教室+子育て講座【絵本】	2回	地域の児童書専門店の方を講師に迎えて絵本の楽しみや子育てのヒントを学び気づく機会とする。				具体的に絵本を通して学び、保護者が子育ての悩みごとを気軽に話し合える場となった。							
		0歳児教室+子育て講座【離乳食】	2回	離乳食に対する不安や悩みを抱えておられる方が多いことから、はぐくみ室の管理栄養士さん、地域の保育園の先生を講師に迎えて離乳食相談会を実施する。				参加者からもたくさんの質問が出た。専門家から直接お話しいただくことで学びに繋がっていた。							
		きんりんお話会(子育て相談会)	1回	「ちょっと気軽に相談できる場」としてお話し会の実施。事前にアンケートを実施し、質問内容を保育士さんに答えていただく。また錦林保育園についてもご紹介いただく。				育休中の方は手続きのタイミングや園での具体的な生活について、その他の方も普段の生活面での悩みや疑問など、保育園の先生とお話できたことで、一定の解決を得ることができた。							
		交通安全教室	2回	警察署員の協力により、乳幼児親子の交通安全啓発活動を行う。				身近なところに危険が潜んでいる事への気づきが生れる機会となった。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

( 2025 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 錦林 ) 児童館

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数							連携団体	成果と課題	
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人			合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	将棋クラブ	12	児童館		5	92	2	7		11	117	民生協議会・岡崎錦寿会・将棋愛好家有志	住民スタッフのサポート継続	
	まめっこサロン	11	岡崎民生協議会・岡崎社会福祉協議会	42						116	158	岡崎自治連合会・児童館	協力協働の関係の深まり	
	白河総合支援学校協働活動	59	児童館	34					189	180	403	白河総合支援学校情報印刷科・食品加工科・農園芸科	お誕生日カードのやり取りやパンの移動販売、農園での収穫体験などを通して繋がりがつくることができた。	
	おもてなしプロジェクト 交流	17	児童館		2	90	13	45		204	354	左京南地域包括支援センター 川東民生児童委員協議会 聖護院民生児童委員協議会	左京南地域包括支援センターの協力を得ながら、地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。	
	合計	4	—	76	7	182	15	52	189	511	1032			
	(2) ボランティア活動の推進	活動内容			活動人数				成果と課題					
					中学生	大学生	大人	合計						
大学生・大人ボランティアガイダンス・活動ふり回り				7	1	8	ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。							
中学生ボランティアガイダンス・活動ふり回り			31			31	ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。							
子どもクラブ（サッカー、ダンス、将棋、おりがみ、紙野球）活動打ち合わせと振り返り			102	14	39	155	活動の定着と継続。							
スタディールーム大学生スタッフ活動打ち合わせと振り返り				147		147	活動の定着と継続。スタッフの卒業に伴う新たなスタッフ募集の取組の必要。							
統合育成スタッフミーティング				3	1	4	活動の定着と継続。							
中学生・大学生企画活動打ち合わせと振り返り				3		3	活動の定着と継続、発展。							
		合計	133	174	41	348								

福 祉 促 進 機 能	本 社 活 動	(3) 地域との連携を 促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
			錦林小学校	利用児童（学童クラブ・自由来館）・家庭への支援に係る情報共有と相談	子ども家庭への支援に繋がる連携を児童館側から強く働きかける必要がある。
			白河総合支援学校	協働事業振り返り	協働事業についての目的共有と意見交換の場を継続して持つことを維持。より良い活動に向けて意志共有の場となっている。
			左京区子どもはぐくみ室	ネットワーク会議、子育て講座、はなまる広場@きんりん	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まる一方で、連携体制については児童館側から強く働きかける必要がある。
			錦林ネットワーク会議（小学校・保育園・幼稚園・主任児童委員・左京区子どもはぐくみ室・岡崎いきいき市民活動センター）	構成団体同士で子ども家庭支援のための情報交換・共有を行う。個別支援に係る情報交換会も実施	多くの構成メンバーがあるため、日程調整などに加え、情報交換・共有の仕方についても再検討の必要がある。
			岡崎自治連合会	地域の皆さんに児童館と子ども達の様子を知っていただく。	日常の遊びが子ども達の成長の力となっている姿を見ていただき、地域の方々から暖かい評価と励ましをいただく。子ども達は、普段の遊びの展開が地域の多世代に喜んでいただき評価いただく経験を通して、大きな喜びを感じている。
			岡崎民生協議会・主任児童委員・岡崎社会福祉協議会	まめっこサロン・乳幼児親子支援活動チラシポスティング・将棋クラブ・サンタプロジェクト・駄菓子デー・こどもこども会・きんりん児童館まつり	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			聖護院民生協議会・主任児童委員・聖護院社会福祉協議会	乳幼児親子支援活動チラシポスティング・将棋クラブ・サンタプロジェクト・駄菓子デー・こどもこども会・きんりん児童館まつり	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			川東民生協議会・主任児童委員	将棋クラブ・きんりん児童館祭り・サンタプロジェクト・こどもこども会・駄菓子デー	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			吉田主任児童委員	乳幼児親子支援活動チラシポスティング	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			消防分団（岡崎・聖護院・川東）	きんりん児童館祭り・乳幼児親子AED体験研修	子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。
			京都市左京南地域包括支援センター	出張おもてなしプロジェクト	地域の高齢者施設、団体のもとへ子どもたちと出向いた。地域の高齢者との交流の機会となった。
			東部まち美化事務所	リユース回収	活動を通して、「もったいない」の意識が生まれ、ゴミ減量に目を向けるきっかけにも繋がった。

基本活動	(4) 児童館を支える地域組織づくりと運営	組織名称	構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		錦林児童館運営協力会議	岡崎・川東・聖護院主任児童委員, 岡崎・川東・聖護院消防分団		主任児童委員：年度初めと 終わり 消防分団：8月・2月 (年2回)	児童館活動への地域の意見反映	毎年、児童館の日常活動やイベント、地域団体の取組活動などを通して、協力連携の関係作りが積み重ねられている事を確認している。個別の情報交換などを密に行う。
地域福祉促進活動	(5) 地域への施設等の提供	会場提供・備品貸出等	使用目的		提供先 (団体・機関等)	成果と課題	
		会場提供・備品貸出 (ラミネート機械・クリスマスツリー・キーボード・楽器・CDデッキ・湯沸しポット)	まめっこ (子育てサロン) の取組		岡崎民生委員	民生委員の方たちと交流できる機会となっている。子育て経験のある民生委員の方たちは利用される乳幼児親子に対して安心感を与える声かけをされている。参加者の以降の児童館利用につながるケース多い	
地域福祉促進活動	推進活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
		乳・幼児クラブ・プレ乳幼児クラブアンケート	利用者がクラブ活動に求めるものを知る。	乳児・幼児クラブ	児童館	アンケート用紙	参加者の「こんなことやってみたい」を実践できるよう努めた。参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認することができた。白河総合支援学校との協働の取り組みでは、相互に振り返りと意見の交換ができた。
		子育て講座アンケート	ニーズと取組の成果を知る	講座参加者	児童館	アンケート用紙	講座の前に困りごとのアンケート調査を実施することで講座内容が参加者のニーズに繋がった。
		0歳児教室について	ニーズと取組の成果を知る	参加者	児童館	アンケート用紙	参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認。
		学童クラブアンケート	学童クラブの保護者の学童クラブに対する満足度や要望等を知る。	学童クラブ登録家庭	児童館	Googleフォームのアンケートをアプリ配信	感謝の言葉をいただくと同時に、学童クラブへの満足度や、職員や行事に対しての保護者の意見を知ることができたので、今後の活動に反映させる。
		学童クラブ子どもアンケート	子どもの思いを探る	学童クラブ登録児童	児童館	アンケート用紙 書き込み表の掲示 口頭での伝達	日常生活や取組み (こどもこども会演目・祭り遊びコーナー種類・高学年イベント・3年生イベント・進級お祝い会・新入生を迎える会・クリスマスプレゼント) など、子どもたちの素直な気持ちを知り、活動に反映させることが出来た。

(6) 地域調査活動	ボランティア活動ふりかえり	ボランティア育成とコーディネート	日々のボランティア全員	児童館	ふりかえりシート	職員が気づかないところでの出来事や見落としていた点に気付かされることが多く、活動の見直しにも役立っている。
	中高生活動参加者アンケート	ニーズと取組の成果を知る	利用者	児童館	ふりかえりでの聞き取り等	活動への感想と参加したことでの楽しさと困りごとについて率直に聞き取ることが出来た。
(7) 地域の子どもの居場所との連携・交流	連携・交流先		取組内容			成果と課題

( 2025 ) 年度

## 児童館事業年間活動報告書

( 錦林 ) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	月1回	小学校（全校配布）、錦林ネットワーク関係団体、中学校、子どもはぐくみ室、左京・東山区各児童館、学童保育所	配布、掲示、配架	児童館での活動、行事等のお知らせ	毎月児童館のことを伝える良い手立てとなっている。見やすい紙面の充実と、出来るだけ早い発行を実現したい。
	ミニだより	月1回	保育園、幼稚園、はぐくみ室、乳幼児親子	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	乳幼児対象の取組のお知らせ	乳幼児親子向けの詳細を記載し、わかりやすい内容にする。早期に予定をたて、安定した広報を心がける。
	児童館・学童クラブパンフレット	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	事業活動紹介	業者に印刷を依頼し、パンフレットを作成。
	乳幼児親子向け活動チラシ	年14回	利用者	配布	参加希望者への案内	0歳児教室、子育て講座、各種イベントの広報を行う。
	乳幼児クラブおたより	隔月	登録制乳幼児クラブ親子	配布	登録制乳幼児クラブの予定、お知らせ	クラブ活動の内容を詳細に記載し、見通しを持って活動に参加していただけるようにする。早期に予定をたて、安定した広報を心がける。
	乳幼児クラブ案内チラシ	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	活動案内	希望者にはいつでもわかりやすくお伝えできる情報の整理。
	乳幼児クラブ募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	乳幼児クラブ要項	希望者にわかりやすくお伝えできるよう、見やすさと情報の整理を行った。
	児童館の取組活動案内チラシ	活動毎	利用者	配布、児童館に置いておく	参加希望者への案内	年間を通して児童館全体の各種取組活動
	こどものクラブ案内チラシ、募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	ダンス、紙野球、運動、竹馬、編みっこ、うたっこ、ビーズ、将棋クラブの案内と募集の流れ	参加希望者が多くあり、クラブ運営が困難なクラブも発生する為、募集方法についての工夫が必要。
	非常時の児童館利用について	年1回	小学校（全校配布）	配布	台風到来時等の児童館利用について	感染症流行や自然災害時の、児童館の基本対応を自由来館保護者に確認していただくことができる。

自由来館利用案内	年1回	学童クラブ以外の小学生	小学校内クラス配布	自由来館利用の小学生の保護者連絡等を提出していただく。	自由来館児童の安全にかかる確認をとる事ができる。
ちっちゃな先生説明書、登録カード	年1回	希望児童	説明会の際に配布	乳幼児との関わり方について。	小学生が出来る事と守って欲しい事を、わかりやすく伝える。
ボランティア募集チラシ	年1回	希望学生	配布、ボランティアが知り合いに手渡す、ホームページへの掲載	ボランティア募集のお願い、活動案内	ボランティア希望者には配布のみでなく、口頭での説明も行った。既に活動している学生を通して広報活動を行った。
介助ボランティア募集チラシ	年1回	希望学生	配布、ボランティアが知り合いに手渡す、LINEで情報提供	ボランティア募集のお願い、活動案内	既に活動をしている学生から、大学内の情報ツールを活用して広報してもらった。大学入学者の介助者獲得にもつながった。
ホームページ	毎月	利用者、市民	ホームページの更新	月間行事案内、おたよりの掲載	更新日に気をつけ、ページの見やすさを心掛ける。

( 2025 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 錦 林 ) 児 童 館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題	
生活援助機能	安全・衛生の確保	集団帰宅時の安全指導	小学校入学式以降の1週間は、集団帰宅する児童に職員が付き添い、横断歩道の渡り方や集団で歩道を歩く際の注意点の指導等もあわせて行った。職員が付き添う期間が過ぎると走って帰ったり、別の班の児童と帰ったり、まとまって帰るといったことが難しい班もあったため、注意やサポートが必要な班には職員が同行をした。	
		うがい、手洗い、手指消毒の励行	新年度当初は多くの児童が行っている様子が見られるが、年度の半ばになってくると声かけをしないとやらない児童が増える。特にうがいを行う児童は少ない。繰り返し全体の場などで手洗い・うがいの仕方や必要性を児童に話していく必要がある。	
		アレルギー対応	登録時に申告してもらっている情報からアレルギー表を作成し、それをもとにアレルギー、宗教上食べられないものがあるこどもは代替のものを提供した。	
	健康の管理・情緒の安定	感染状況の把握	流行性のある病気等が流行る時期に、病気を記録して児童館内のこどもの病気の状況を確認する。特定の時期に限らず、流行性のある病気が発症した場合は記録した。	
		安心して過ごせる雰囲気づくり	職員自身が「できないこと」を強調するのではなく、「できたこと」を大事に言葉かけをし、褒めてこども自身が認められることでの心の充実につなげていきたい。こどもひとりひとりの居場所ととして過ごせることを心がけた。	
		こども主体の支援	話し合いが必要であると判断した場合には、事務室など落ち着いた場で話をするようにした。こどもによってはトラブルの際の聞き取り方を工夫し、それぞれの思いに平等に寄り添うことを心がけた。	
	基本的生活習慣の確立	あいさつや言葉遣いに関する指導	こどもたち同士の関わり、こどもと職員との関わりの中で出てくる言葉遣いで適切でないものがあつた場合は、その都度指導をしていった。	
		室内遊びの環境整備	別館内ではいろいろな遊びが混在している状況だったので、遊びの種類によって棲み分けを行った。棲み分けを行ったことで、些細なトラブルが減り、こどもたちの様子が落ち着いた。	
		宿題の声かけ	宿題スペースを設けているが、宿題に関しては、自主性を尊重している。保護者から声かけの要望がある児童については、個別声をかけたり、こどもと確認をしている。	
		おやつ時の片付け	こども自身が自分でおやつを食べる時間やおやつの種類を選べることを大切にしたい。他の人も気持ちよく次に使えるよう、自分が食べた後の机を拭くことで自分のことは自分でする、次の人のことを考える等の意識をもてるようになった。	
		机やはさみ等の取扱い方	年度の初めに物の使い方を徹底するが、しばらくすると間違つた使い方をする児童が増えてきた。はさみは貸出制にし、こどもたち自身が管理を意識するように促す。遊びの終了時から帰りの会へ切り替えるときに、こども机はこどもたちが自主的に片付けるように促した。片付けるこどもにも偏りはあるが、自ら片づけるこどもは増えていった。	
	社会生活技術の獲得	班内の係活動、班ごとの当番活動	高学年の活動は、自主性を尊重し、自ら活動したことについてポイントを加算し、景品と交換できるポイント制で行った。3年生も役割を担って、帰りの会で報告していた。責任感を持って活動していた。班活動の掃除は、掃除が終わるとグループ全員が集まって終わったことを職員に報告したり、一人一人の役割を明確にしたことでしっかりと掃除ができた。	
	子ども育成機能	生活体験の拡大	誕生日会(年4回)	高学年が外で出来るみんな遊びを企画し、進行する。お楽しみおやつの実施と、帰りの会で職員と友達からのメッセージが書かれた誕生日カードを渡した。
			1年生を迎える会	2～6年生が学童クラブに入る新1年生を祝う為、役割をこども達が受け持ち、皆で1年生を迎える。
			お弁当いらんデー	年4回、お弁当を外注してみんなで食べた。(内2回は保護者会からの要望により実施)
グループワーク会議			日常の当番活動やお出かけ行事、イベントの実施にあたってはこども主体の企画運営が進むよう可能な限りの小集団での準備を心掛けたことにより、より子ども達が「自分達の活動」として捉えることができ、団結力につながった。	
3年生イベント			学童クラブの3年生が、イベント当日までに話し合い準備を進めていった。当日、午前中は館内でみんな遊びをして、午後はおやつを買いに行き、館内でクレープを作って食べた。	
こどもこども会			地域の方をお招きし、会の前半は自分の好きなことや得意なことをみんなの前で発表した。会の後半は小グループに分かれ、地域の方にも参加していただき、グループ対抗のクイズ大会を行った。普段のこどもたちの様子や頑張りを、地域の方や保護者に知っていただけたり、交流の場となり良い機会となった。	
自主性・社会性の養成				

肥	自立の促進と自主性の尊重	おでかけ(東映太秦映画村)	京都市バスを利用し、東映太秦映画村へおでかけした。異年齢同士のグループで館内外の見学を行い、高学年が低学年を気にかける様子やみんなの意見を取りまとめて行動する姿があった。
		進級お祝い会	5年生を中心に司会進行を担当し、退会する児童と6年生からみんなへメッセージの発表を行った。5年生の発案で、1～5年生全員でサプライズの合唱プレゼントを行った。
		6年生イベント	6年生が低学年のためにみんな遊びを企画運営する。児童館内外での遊びの運営を行った。当日は、みんなが楽しめるように6年生のスタッフ同士が協力しながら進んでいた。実施後、広島焼やペビーカステラを焼いてお疲れさま会を行った。
		こども会議	話し合いに参加するこどもを募りこども達を中心に遊びのルールや日々の困りごと等を話し合う場を設けた。こども達から実施を依頼されたこともあり、こども達の考えや思い、意見を大切にしたい。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	学童クラブだよりの発行	学童クラブに関する連絡事項やこどもの様子などを保護者に伝えるのに非常に有効であった。写真掲載は、学童クラブの様子を伝えるのに適当であった。こどもによるこどもニュースは保護者からも好評だった。
		写真販売	写真販売を行う。普段見ることができない学童クラブでのこどもたちの様子を保護者に知ってもらいながら、こどもの成長を共に感じられる機会となっている。
		保護者との面談(随時)	お迎え時等、保護者となるべく話す機会をもち、こどもに関する何気ないことも共有できることは非常に有効である。こどもや家庭のことで保護者から相談がある場合は、個別対応も行っている。
	子育ての仲間づくり	統合育成個別懇談会 保育園、幼稚園、小学校との情報共有	課題の見受けられる児童も含め、保護者の求めに応じて個人面談を設定。また、小学校や出身保育園、幼稚園との情報共有など連携を深めることができた。
		親子交流会(夏のレクリエーション)	保護者企画として、館内外でのコーナー遊びとかき氷を提供した。保護者同士が出会う機会が少なく、企画を通じて保護者同士が交流ができてよかった、との声があった。かき氷もなかなか地域で食べる機会がないので、と好評だった。
		親子交流会(秋のレクリエーション)	児童館まつりの共催で、保護者企画としてダーツを企画。企画を通じて役員同士、児童館まつりに参加する他の保護者同士の交流ができた。
	子育てを支えるネットワーク 形成	親子交流会(冬のレクリエーション)	フリスビードッジとビンゴ大会を小学校の体育館で実施。多くの保護者も参加され、親子の交流、保護者同士の交流の場として良い機会となった。
		春の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々のこども達の姿について共有する。保護者同士のおしゃべりタイムを実施、保護者同士の交流の機会を広げる。
		冬の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々のこども達の姿について共有する。保護者同士のおしゃべりタイムを実施。保護者同士の交流の機会を広げる。参加人数が少ないことが課題。
		令和8年度学童クラブ登録説明会	新規登録の方のみに向けて行った。集団下校のグループに分かれてルートを確認。近所に住む保護者同士の交流にもなった。

( 2025 ) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

( 錦 林 ) 児 童 館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中高生	大学生	大人			
(1) 朝・帰りの会司会 (3年生)	242			1079										1079	こども達の生活グループ (班) を中心に活動。3年生が土曜日や長期休業中は朝の会を進行し、一日の見通しを持てるようにする。
(1) 長期休みの静かな遊び	84	135	163	158	156	88	4		4					708	長期休みは昼食後、体を休めるため静かに過ごせる遊びを取り入れた。
(1) 長期休み期間中のおやつ後の掃除	32	231	362	272	204	77	18	3	8					1175	長期休み中は、部屋の掃除を分担して実施。こども達の生活グループ (班) を中心に活動。
(1) 新1年生 (新入会) 児童説明	7	39	3	3	2									48	新1年生 (新入会) 児童が小グループに分かれ、高学年の子どもたちが館内を案内する。
(1) 集団帰り安全指導	25	87	73	59	52	21	5							297	集団がえり時に安全に帰れるように帰り方を職員がチェック、同行する。
(1) 3年生による運動場見回り	146			211										211	3年生が帰りの会前に運動場の状況をチェックして帰りの会でみんなに報告する。忘れ物、一輪車、竹馬の放置がないか確認する。
(1) 3年生による文具・ビー玉チェック	178			306										306	別館の文具や貸出しているビー玉がそろっているか、3年生が確認し帰りの会で報告する。
(1) 3年生による別館本整理	163			239										239	3年生が、別館の本棚の整理整頓をする。
(1) 高学年の役割	238				988	262	144							1394	高学年が図書室の本棚の整理をしたり、机を片付ける等、自ら仕事を見つける。
(2) 誕生日会 (特別おやつ)	6	161	197	159	117	38	11							683	誕生日会の日にケーキや和菓子等、特別おやつを提供する。
(2) 誕生日会 (こどもスタッフ活動)	6		1	1	7	8	1	1						19	主に高学年が会議を重ね、みんなでできる遊びの内容を企画し、誕生日会当日の運営を行う。
(2) 誕生日会 (みんなあそび)	6	31	84	33	18	18	5	4	4					197	誕生日会の日に高学年が企画した遊びを実施。自由参加。
(2) 新入生を迎える会	1	24	36	30	22	7	2						22	143	上級生が新一年生を迎え、みんなでお祝いする。
(2) 高学年ポイント交換	2				3	7	5							15	高学年の役割を果たすとポイントがもらえる。ポイントが貯まれば景品と交換できる。
(2) こども会議	4	16	11	6	6	5	1							45	話し合いに参加するこどもを募り、こどもの困りや遊びに関するルール等をこども同士で話し合い、意見聴取をする。高学年が進行し、みんなの意見をまとめる役割を行う。イベントの前は、スタッフとして関わるこどもたちの会議の場とする。
(2) 3年生イベント会議	4			111					2					113	3年生のお楽しみ企画を話し合う。
(2) 3年生イベント買い出し	1			4										4	3年生のお楽しみ企画で必要なものを買いに行く。
(2) 3年生イベント	1			30										30	午前中は児童館でアイスクリームとポップコーンを作って食べる。午後は鑑賞会を行った。
(2) お弁当いらんデー	4	108	131	104	84	38	9							474	お弁当を外注する。長期休暇中に家庭でお弁当を作る負担を1日でも減らす。保護者からの要望があり回数を増やし、内2回は保護者会寄付金から算出。
(2) 高学年イベント会議	2				31	13	2							46	高学年イベント実施に向けて、高学年で話し合いをする。
(2) みんな遊び (実習生企画)	1	12	8	4	1	2								27	実習生のみんな遊びの企画。こどもたちは自由参加。
(2) だがしデー (こどもスタッフ)	8		34	6	4	15				9				68	駄菓子デーの受付や店番をする。

(2) 1年生話し合い(2階、机の使い方)	2	26											26	1年生に2階の使い方、机の使い方の話をする。	
(2) 高学年話し合い(役割)	1				13	4	1						18	高学年の役割について、高学年と話し合いをする。	
(2) 京都教育文化センター映画上映会	1	5	9	3	3	3	1						24	地域の施設で無料公演の企画があり、申し込み参加した。	
(2) 夏のレクリエーション	1	24	28	23	12	4	3	3		9			77	183	保護者会夏レク担当が企画運営。館内外での遊びのコーナーとかき氷イベントを実施する。
(2) 冬のレクリエーション	1	16	23	15	3	4	2			1			47	111	保護者会冬レク担当が企画運営。フリスビードッジ、ビンゴ大会を実施する。
(2) おでかけ(話し合い)	2	33	48	25	18	11	2						137	137	おでかけのグループごとに、どう楽しむかコースや約束ごとについて相談する。
(2) おでかけ	1	20	26	15	10	6	2			3			82	82	市バス利用し太秦映画村へのお出かけする。
(2) やんちゃフェスタ話し合い	4	7	9	4	2	3	1						26	26	やんちゃフェスタに参加することも達にも内容の説明をおこなう。また、当日一緒に回るグループごとに、コーナーの周り方や約束事等を話し合う。
(2) 進級お祝い会	1	26	31	22	16	6	2						103	103	学童クラブメンバーそれぞれの進級を祝う。こどもを中心に会を進めていき、6年生ひとり一人からみんなへメッセージの発表をする。
(3) 夏のレクリエーション(保護者役員)	1									3			16	19	保護者会夏レク担当が企画運営。館内外での遊びのコーナーとかき氷イベントを実施する。
(3) 秋のレクリエーション(保護者役員)	1												11	11	児童館祭りの中で、保護者会秋レク担当が企画運営。ダーツを実施する。
(3) 冬のレクリエーション(保護者役員)	1												11	11	保護者会冬レク担当が企画運営。フリスビードッジ、ビンゴ大会を実施する。
(3) 小学校PTA主催、りんちゃん祭りへの参加	1	8	12	2	3	3	1						29	29	小学校のPTA主催のイベントに、学童クラブ児童を引率し参加する。
(3) 保護者会会議	10												80	80	年間予定立案とレク担当の調整。保護者会事務局の話し合いなど。
(3) 保護者懇談会、新規登録説明会	8	2	3	2									82	89	新規登録児童保護者への説明会。懇談会はこどもの様子や今後のお知らせについて話し、保護者同士で話す機会を作る。
(3) 保護者、児童、学校懇談、関係機関(課題ケース)	29												47	47	個別課題について解決に向けて話し合う。小学校・関係機関との連携も含めて実施する。
(3) 個別児童家庭からの保護者相談	2												3	3	主としてこどもの生活上の課題や友達関係についての相談。
(3) 統合育成個別面談	43												45	45	成長発達上の課題の見受けられる児童について、保護者との個別面談を実施する。
(3) 個別児童家庭との保護者面談	2												6	6	こどもについての普段の様子や気になることを個別面談にて共有する。
(3) 新1年生個別児童家庭との保護者面談	3												5	5	次年度学童クラブ登録の新1年生の保護者との情報共有。
(3) 介助者ミーティング	3												4	4	介助ボランティアとの情報共有。
(3) 臨時職員との情報共有	3												10	10	臨時職員との情報共有。
(3) 新規児童説明	1												1	1	新規登録児童の保護者に児童館や学童クラブの説明を行う。

\*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

\*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること